

突撃！ インタビュー



衛星をつくるひと



宇宙旅行を夢見る仲間を
少しずつ増やしていきたいですね！
武井 悟郎

今日は、宇宙航空研究開発機構
宇宙基幹システム本部 試験センターの
武井悟郎さんにお話をうかがいます。
武井さんは神奈川県生まれ、カリフォルニア大学
物理学部卒業後、アメリカの音響・振動のコンサルティング
会社で音響・振動解析、後に同じくアメリカの携帯電話
メーカーで携帯電話の製造試験等を行っていたそうです。
3年前JAXAに入るまで17年間アメリカ生活をしていた
武井さんに、さっそくお話をうかがっていきましょう。



編集部(以下編):武井さんが現在担当されているお仕事は?

武井さん(以下武):ロケットは宇宙に上がって行く時に結構揺れます。その揺れに耐えられないと人工衛星は壊れてしまいます。宇宙に行ってしまった衛星を直すには、宇宙飛行士にお願いするか、直すための機械を載せた衛星を打ち上げるかしかなく、長い準備期間や高い費用がかかるため簡単にはできません。そこで打ち上げる前に揺れや大きい音、切り離す時の衝撃等で壊れないか等の試験を行います。私はその中の振動試験を担当していて、設備の整備や管理、新しい試験設備の設計・開発に携わっています。

編:現在のお仕事でどんなときにやりがいを感じますか?

武:試験では本物の人工衛星に振動を加えるので、その振動で壊れてしまわないかと強い緊張感が張りつめます。そんな試験を無事に終了して、人工衛星が宇宙で活躍する時、むくわれたなってしまう。また、色々な試験や勉強、仕事仲間との会話等を通して、ロケットや人工衛星や宇宙の不思議を学んだりするのも魅力の一つですね。あとは、人工衛星が振動台に乗ったとき! やっぱ大きいものは迫力がありますよ。

編:お仕事で苦労したお話を聞かせてください。

武:設備は定期的に整備を行っていますが、それでも試験中のトラブルで試験が続けられなくなることもあります。試験ができないと衛星の開発スケジュールが遅れてしまうので、再開のため、できるだけ早く確実な対策を立てなければなりません。いかに安全で確実に試験を行うかを考えることは、僕の仕事であり、チャレンジだと思っています。

編:宇宙開発を志した動機は?

武:僕には月に行きたいという夢があります。月の重力は地球の1/6なので地球より6倍高くジャンプできたり、月から青い地

球を見たりと、日常では体験できない魅力が満載です。そんな月旅行実現に貢献できるかな、と思って志しました。

編:JAXA(当時はNASDA)に入社されたきっかけは?

武:実はコンサルティング会社で働いているときに仕事で筑波宇宙センターに半年くらい来ていました。そのとき一緒に仕事していた人から中途採用試験を勧められて…。

編:今後JAXAでどんなことをやりたいですか?

武:まずは、宇宙開発をしっかりとやるように技術を蓄えて少しでも多く貢献したいです。最近アメリカではNASA以外の一般の会社での宇宙旅行もいよいよ現実的になってきました。近い将来、だれでも宇宙に行けるよう努力したいと思っています。まずは、宇宙旅行が身近になってきたことを伝えることから始めています。自分の友達とかからでも。そして宇宙旅行を夢見る仲間を少しずつ増やしていきたいですね。

編:宇宙開発をしていなかったら、今何をしていますか?

武:大学の時に、車椅子の改良、障害者用のエレベーターやコンピュータなど介護器具に興味があったので、もっと便利に人に優しい機械を作っていたかもしれません。

編:マイブームを教えてください!

武:旅行やイベントに行った時に体験コーナーがあると、とりあえずやってみます。最近では藍染めのハンカチ、和紙のはがき、マグカップ、勾玉、三喜駒(笑)等を作りました。お蕎麦も打ってみました。実際に体験すると、聞くだけでは分からなかったことを学んだり、言葉で言い表せないことを経験したりと、新しい発見が沢山あります。体験コーナーは、何より楽しい思い出が残ったり、世界で一つの自分の作品ができたりのがうれしいですね。友達や家族とやるとそれぞれの性格がでて、大胆な作品ができたり、芸術的な作品ができてたり面白いですよ。

編:最後に読者へ一言お願いします!

武:恥ずかしながら色々な体験コーナーで遊んでみてください。そして疑問に思った事をどんどん聞いてください。色々な事を知って楽しいですよ。科学未来館やJAXAの一般公開なども楽しいイベントが盛りだくさんですので是非遊びにきてください。

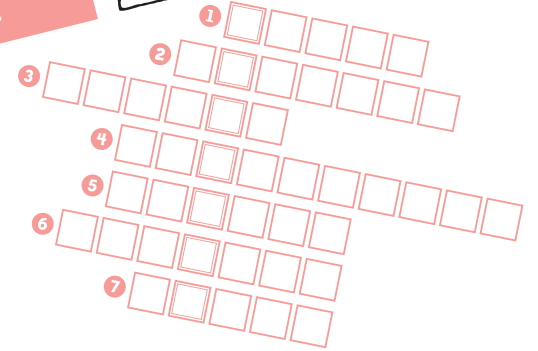


水泳とスノボが大好きで、
楽しいのは早寝! という武井さん

Satellite Crossword? Puzzle

1から7までの答えをマスに書き入れ、ヨコのマスが全部埋まったら完成!
タテの二重マスをつなげて読むと、テーマにそったキーワードが…。

- ① 野口宇宙飛行士は○○○○スペシャリストとして船外活動を担当。
- ② 太陽系で唯一液体の水を持つ地球は、「○○○○○○」と呼ばれます。
- ③ サテ★カフェは、JAXAが発行する○○○○○○です。
- ④ 野口飛行士の行き先はISS。コクサイ○○○○○○○○。
- ⑤ 地下水のくみ上げ過ぎで土地が沈んでしまうことを何といいますか?
- ⑥ 野口宇宙飛行士が搭乗するオービターは、○○○○○○号。
- ⑦ 排気ガスが空気中で酸化して雨に溶け込むと、これが降ります。



テーマは
Water Planet



こたえはコチラ! → <http://www.satnavi.jaxa.jp/magazine/>
JAXA宇宙利用推進本部のホームページに、パズルの解答を掲載しています。ホームページでは、各キーワードについてさらに詳しい解説へのリンクも用意しています。ぜひご利用ください。
★このミニマガジンの最後のページにも、パズルのこたえがかくされています。探してみてください!

サテライトQ&A大募集!

サテカフェでは、皆さんからの人工衛星に関する質問を募集しています。
はがき、FAXまたはメールにてお寄せください。

あてさきはこちらまで
〒305-8505 つくば市千現 2-1-1 宇宙航空研究開発機構
宇宙利用推進本部「サテカフェ編集部」Q&A係
FAX:029-868-5987 メール:SATCAFE@jaxa.jp
※住所・氏名・年齢・職業(学年)・電話番号を明記してくださいね。



人工衛星について
分からないことある?
OK!!なんでも聞いてよ!



編集
後記
Editors
Voice

あちらこちらで桜も咲き始め、いよいよ春本番。
桜の下でランチやお花見と外で楽しむにはよい季節となりました。
おもいきり春を満喫したいけど、今年はまだまだ花粉がすごいうよう
お花見するものもちょっと大変!? (吉井)

次回の『SATELLITE★cafe』のキーワードは「光でつながる宇宙ネットワーク」です。お楽しみに!